



Infor LN 財務会計 財務諸表ユー ザガイド

重要事項

本書に含まれる資料（あらゆる補足情報を含む）は、Inforの機密及び専有情報に相当し、かつそれを含むものです。

添付を使用するにあたり、使用者は、当該資料（当該資料のあらゆる修正、翻訳または翻案を含む）、すべての著作権、企業秘密、及びそれに関係するすべてのその他権利、権原及び利益はInforが独占所有するものであり、使用者には、別の契約（この別契約の契約条項によって、貴社の当該資料及びすべての関連する補足情報の使用が規定されます）に基づいてInforより貴社に使用許諾されたソフトウェアに関連し、またその使用を促進することのみを目的（以下、「目的」という）として、当該資料を使用するための非独占的権利以外、使用者の閲覧に基づく権利、権原及び利益（すべての修正、翻訳または翻案を含む）は付与されるものではないことを認識し、それに同意するものとします。

更に、同封の資料を使用するにあたり、使用者は、使用者が当該資料を極秘扱いで保管しなければならないこと、そして使用者の当該資料の使用は上述の「目的」に限定されることを認識し、それに同意するものとします。Inforは、本書に含まれる内容に誤りや洩れがないよう細心の注意を払っていますが、本書に含まれる内容が完全なもので、誤植やその他の誤りがなく、使用者の個別の要望を満たすことは保証しません。したがって、Inforは、本書（あらゆる補足情報を含む）の誤りまたは不備により、またはそれに関連して生じたあらゆる個人または団体に対する、あらゆる間接的または直接的損失または損害について、その誤りまたは不備が過失、事故またはその他の理由によるものであるかどうかにかかわらず、一切の責任を負わず、かつそれを放棄するものとします。

使用者の本資料の使用は、米国輸出管理法及びその他に限定しない輸出入の適用法に準拠するものとし、使用者は、本資料及びあらゆる関係資料または補足情報を当該法律に違反して、直接的または間接的に輸出または再輸出してはならず、またこれらの資料を当該法律により禁止されるいかなる目的にも使用してはなりません。

商標確認

ここに示す文字標章及び図形標章は、Infor及び/またはその関連会社ならびに子会社の商標または登録商標、あるいはその両方です。無断複製・転載を禁ず。参照されるすべての他の社名、製品名、商標名またはサービス名は各所有者の登録商標または商標です。

発行情報

文書コード	tffstug (U9599)
リリース	10.5.1 (10.5.1)
発行日	2017 年 12 月 19 日

目次

文書情報

第1章 概要.....	7
第2章 財務諸表パラメータの設定.....	9
第3章 財務諸表レイアウトの作成.....	11
第4章 財務諸表の作成.....	15
財務諸表の一括変更.....	22
第5章 財務諸表の処理と出力.....	23
第6章 調整取引と消去取引.....	27
第7章 財務諸表データのドリルダウン.....	29
第8章 外部レポートツール用の財務諸表用元帳勘定構造.....	31
第9章 外部レポートツール用の財務データ処理.....	33
付録A 勘定タイプ値の例.....	35
付録B 用語集.....	37

索引

文書情報

この文書では、財務諸表を作成して、勘定構造を財務諸表に関連付ける手順を説明します。財務データをレポートテーブルにエクスポートする方法についても説明します。

本書の使い方

この文書は、オンラインマニュアルのトピックを集めたものです。この結果、マニュアルの他のセクションの参照は、次の例のように示されます。

詳細については、「シリアル番号付品目を設定するには」を参照してください。参照先のセクションを見つけるには、目次を参照するか、文書の最後にある索引を使用してください。

用語の下線は、用語集の定義へのリンクを示します。本書をオンラインで表示している場合は、下線付きの用語をクリックすると、この文書の最後にある用語集の定義が表示されます。

コメント

弊社は常に文書の見直しや改善を行っていますが、この文書に関するご意見、ご要望などありましたら、documentation@infor.com にご連絡ください。

送信の際には文書番号およびタイトルを明記してください。情報が具体的であるほど迅速な対応が可能です。

Infor へのお問い合わせ

Infor 製品に関するお問い合わせは、Infor Xtreme Support ポータル www.infor.com/inforxtreme をご利用ください。

製品リリースに関する更新情報は、この Web サイトに掲載いたします。このサイトを定期的にご確認ください。

Infor ドキュメントに関するご質問・ご意見は、documentation@infor.com までご連絡ください。まずようお願いいたします。

財務諸表 (FST) モジュールで、財務諸表および統合財務諸表を定義および出力できます。これらの諸表は、総勘定元帳勘定およびディメンション構造のさまざまな断面に基づくことができます。また、キャッシュフロー理由に基づくキャッシュフロー計算書を定義することもできます。

- 財務諸表では、総勘定元帳および財務予算システムから最適な財務値を収集することができます。この財務データをレポートに使用できます。年初来値を含む取引明細書の値は、LN で計算され、FST レポートテーブルに保存されます。
- これらの FST レポートテーブルを使って LN から直接レポートを出力したり、BIRT レポート機能を使って PDF 形式および HTML 形式で出力したり、Excel や Word にエクスポートしたりできます。また、外部レポートツールを使用して FST レポートテーブルに基づくレポートを作成することもできます。その場合、レポートレイアウトを定義したり、レイアウトコードを財務諸表にリンクしたりする必要はありません。
- FST レポートテーブルに詳細 (付属書類) データを保存し、このデータを付属書類レポートや分析セッションで 사용할 ことができます。
- 財務諸表用の調整処理を作成できます。これらの取引は総勘定元帳には転記されず、レポートの目的でのみ使用されます。
- 財務諸表 (FST) モジュールを使用して連結レポートを作成し、消去取引を入力できます。
- 財務諸表には、レートが定義済の通貨をどれでも使用できます。
- 財務諸表に追加する比率を定義および計算できます。

財務諸表を使用する場合、以下のステップがあります。

- 財務諸表パラメータの設定
- 取引明細書レイアウトの作成
注意: このステップが必要なのは、LN から直接財務諸表を出力する場合、または BIRT を使用する場合のみです。
- 財務諸表の作成
- LN の直接出力と外部レポートツールの使用

オプションのステップは次のとおりです。

- 調整/消去取引
- 財務諸表でのデータのドリルダウン

外部レポートツールを使用する場合は、以下を参照してください。

- 外部レポートツール用の財務諸表用元帳勘定構造
- [実際価額コード] パラメータの設定

第2章 財務諸表パラメータの設定

2

財務諸表 (FST) モジュールを使用する前に、いくつかのパラメータを設定する必要があります。そのため、財務諸表パラメータ (tffst0500m000) セッションで以下の項目を指定します。

フィールド	説明
実際価額コード	外部レポートツールを使用して FST テーブルに保存された値に基づき財務諸表を作成するには、実際値と予算値を区別するコードを指定します。 LN テーブルで、予算コードにより予算値が識別されます。予算コードのない値は、実際値です。財務会計で実際値を指定するために、実際価額コードが実際値に加算されてから外部レポートツールで使用する FST テーブルに保存されます。
X 年の比率履歴を保持	比率を計算し、財務諸表の過去の期間の計算済比率を使用するには、比率履歴を保持する年数を特定します。
比率履歴の削除前にバックアップ	このチェックボックスがオンの場合、廃止比率データがアーカイブ会社にコピーされ、次にこの廃止データが削除されます。
財務諸表レポートを RPT に自動変換	このチェックボックスがオンの場合、この財務諸表レポートが <u>BIRT</u> 互換のフォーマットに変換されます。
取引ラインの最大数 (GBF)	GBF (<u>グラフィカルブラウザフレームワーク</u>) に表示する取引ラインの最大数を指定します。 デフォルト: 30
最大取引テーブルサイズ	取引テーブルの最大サイズを指定します。 テーブルサイズがパラメータ値を超えた場合、財務諸表取引の削除 (tffst1500m100) セッションを使用してテーブルサイズを縮小するように要求するプロンプトが表示されます。

第3章 財務諸表レイアウトの作成

3

LN から直接、またはBIRT を使用して財務諸表を出力するには、まず財務諸表開始レイアウトを作成する必要があります。レイアウトによって以下が決まります。

- 財務諸表のヘッダの出力方法
- 財務諸表のラインの出力方法
- 財務諸表に出力されるカラムの数、およびそのカラムの出力方法

1 つの財務諸表レイアウトを複数の財務諸表で使用できます。

次のレイアウトタイプのレイアウトを設定できます。

- [財務諸表]
- [統合]
- [付属書類]

財務諸表レイアウトを作成するには

ステップ 1: 全体的なレイアウトの定義

1. 財務諸表レイアウト (tffst0110m000) セッションで [グループの作成] をクリックします。
2. [レイアウトタイプ] を [財務諸表] に設定します。
3. [新規作成] をクリックします。財務諸表レイアウト (tffst0610m000) セッションが開始されます。
4. コードと記述を入力します。
5. [レイアウトサイズ] 領域で、次の項目を指定します。
 - フォントサイズ
 - ページ幅 (文字数で指定)
 - 上、下、および左のマージン
 - ヘッダとフッタのテキスト
6. [カラム定義] 領域で、次の項目を指定します。
 - カラムセパレータ
 - カラムヘッダライン数
 - 財務諸表用元帳勘定カラムヘッダの位置 (0 = 出力しない)
 - 財務諸表用元帳勘定記述カラムヘッダの位置 (0 = 出力しない)
7. 必要に応じて適切なメニューから [テキストエディタ] を選択し、ヘッダテキストやフッタテキストを作成します。テキストボックスでは、テキストエディタのメニューから [ズーム] を選択して、ページ数やユーザ名など、ヘッダテキストまたはフッタテキストで使用する変数を選択できます。

ステップ 2: カラムレイアウトの定義

1. [カラムレイアウト] タブで、次の項目を指定します。
 - 各カラムの開始位置。定義する必要があるのは金額カラムのみです。ここでは勘定科目番号カラムや記述カラムを定義しませんが、記述には 37 の位置が必要であり、勘定科目番号も出力する場合はさらに 14 が必要です。したがって、最初のカラムはこれより後から開始する必要があります。
 - [出力フォーマット]
 - カラムヘッダ配置
2. ここで定義した出力フォーマットの結果をプレビューするには、[出力フォーマット] フィールドの横の [ズーム] ボタンをクリックします。これによって出力フォーマットのテスト (tffst0801m000) セッションが開始されます。

ステップ 3: 元帳勘定レイアウトの定義

1. [元帳勘定レイアウト] タブで、次の操作を実行します。
 - それぞれの勘定科目とサブレベル、または特定範囲の勘定科目やサブレベルについて、次の項目を指定します。
 - 勘定科目の出力方法
 - 勘定科目コードを出力する、レポート上での位置 (0 = 出力しない)
 - レポートのどの位置に勘定科目を出力するか (0 = 出力しない)
 - 財務諸表ラインの上下にラインを出力するかどうか、出力する場合は、どのタイプのラインを出力するか
 - ラインを出力するのは金額カラムのみか、ページ全体か
ヒント: 別の財務諸表でも使用できるように、レイアウトはできるだけ一般的なものにしてください。
 - 付属書類レポートの場合は、元帳勘定レイアウトラインを開きます。元帳勘定レイアウト (tffst0112m000) セッションが開始されます。このセッションでは、以下を指定できます。
 - どの付属書類要素をどの位置に出力するか (0 = 出力しない)
 - 会社、元帳勘定、およびディメンション
これらのフィールドそれぞれに、その位置と記述を定義します。たとえば、ディメンションデータを定義しないと (つまり、各ディメンションの位置と記述がゼロ)、ディメンションデータが出力されません。
2. オプションで、[元帳勘定レイアウト] タブの適切なメニューから [勘定カラムレイアウト] を選択して、元帳勘定カラムレイアウト (tffst0113m000) セッションを開始します。このセッションで、カラム位置の例外を指定できます。このようにして、特定の勘定科目をカラム内でインデントすることができます。
例: カラム 3 に対して、30 より上のサブレベルの勘定科目を、70 ではなく 69 の位置に配置します。

ステップ 4: 追加レイアウト詳細の定義

1. 財務諸表レイアウト (tffst0610m000) セッションで、適切なメニューから [詳細] を選択します。

2. [レイアウト定義] タブの [カラム定義] 領域で、次のカラム詳細を指定できます。
 - カラムヘッダの前後のライン
 - カラムヘッダ財務諸表用元帳勘定
 - カラムヘッダ財務諸表用元帳勘定記述
 3. [テキスト処理] タブで、次のテキストとその位置を指定します (0 = 出力しない)。
 - 調整処理テキスト (調整処理の上に出力されるヘッダ)
 - 繰越テキスト
 - 総計テキスト。合計は財務諸表用元帳勘定の親子構造を使用して計算されるため、通常はこれを使用しません。
 4. [問題テキスト] タブで、次の場合に使用される各種の問題テキストを指定します。
 - ゼロ除算
 - 選択範囲外
 - 不明な分母勘定
 - カラム 1 金額なし
 - 分母カラム金額なし
- 狭いカラムを使用する場合や略語メッセージを使用する必要がある場合は、これらのテキストを編集します。また、財務諸表にエラーメッセージを出力したくない場合は、これらのフィールドからメッセージを削除する必要があります。

ステップ 5: レイアウトの生成

財務諸表レイアウト (tffst0610m000) セッションで [レポートの生成] をクリックします。現在のパッケージ VRC を変更しなければならない場合があります。変更についてはシステム管理者にお問合せください。

ステップ 6: レイアウトの確認

財務諸表レイアウト (tffst0610m000) セッションで [財務諸表レイアウトの出力] をクリックし、[ダミー財務諸表レイアウトの出力] を選択して結果を確認します。

第4章 財務諸表の作成

4

財務諸表 (tffst1500m000) セッションで、親子勘定およびサブレベルを使用して勘定科目構造を設定します。次の 2 種類の財務諸表を設定できます。[財務諸表] および [統合財務諸表]

さまざまなセッションを使用して財務諸表をコピーできます。元帳勘定から財務諸表用元帳勘定へ、またはディメンションから財務諸表用元帳勘定へコピーできます。財務諸表の値から元の LN 取引にドリルダウンできるようにするには、付属書類レイアウトを財務諸表にリンクする必要があります。

注意

統合財務諸表を作成するには、ここに記載されたステップを完了する代わりに、財務諸表からの統合財務諸表の作成を行うことができます。

財務諸表または統合財務諸表を作成するには

ステップ 1: 財務諸表または統合財務諸表のヘッダの作成

1. 財務諸表 (tffst1500m000) セッションで [新規作成] をクリックします。財務諸表 (tffst1600m000) セッションが開始されます。
2. [取引明細書詳細] 領域で、次の項目を指定します。
 - コードと記述
 - 財務諸表タイプ: [財務諸表] または [統合財務諸表]
 - 会計体系のタイプ
 - 財務諸表レイアウト (tffst0110m000) セッションで作成された、該当する財務諸表レイアウトのコード
3. [通貨詳細] 領域で、次の項目を指定します。
 - レポート通貨
 - 計算グループ
 - デフォルトレートタイプ
4. 該当する場合は、[付属書類詳細] 領域で次の項目を指定します。
 - 財務諸表レイアウト (tffst0110m000) セッションで作成された、該当する付属書類の財務諸表レイアウトのコード
 - 必要に応じて、財務諸表データの取得方法を決定する [取引の処理] フィールドの設定を変更します。

ステップ 2: 財務諸表用元帳勘定の定義

財務諸表または統合財務諸表には、財務諸表に表示するラインを表す勘定を定義する必要があります。

財務諸表用元帳勘定を定義するには

1. 財務諸表 (tffst1600m000) セッションの [財務諸表用元帳勘定] タブで、[新規作成] をクリックします。
2. 次の項目を指定します。
 - 勘定科目番号および記述。この番号によって、勘定科目のデフォルトの出力順序が決まります。この順序は、出力順序によって上書きできます。
 - 勘定タイプ (次のセクションを参照)
 - サブレベル
 - [親財務諸表用元帳勘定]
 - 記号切替
 - 為替レートタイプ
 - 為替差損益が記載される財務諸表用元帳勘定
3. ラインを保存します。
4. オプションで、ラインを開いて次の詳細を指定します。
 - 代替勘定
 - 分母勘定
 - 端数修正勘定
 - キャッシュフロー計算書勘定。選択すると、総勘定元帳勘定やディメンションではなく、キャッシュフロー理由から値が生成されます。
注意: これらの勘定を1つずつマニュアルで割り当ててのではなく、適切なメニューからセッションを開始して財務諸表用元帳勘定の範囲にこれらの勘定を割り当てることができます。

勘定タイプの使用

財務諸表勘定を設定する場合は、次の勘定タイプを使うことができます。

- [価値]
サブレベルが0 (ゼロ) の場合、リンクされた元帳勘定やディメンションの金額またはキャッシュフロー理由の金額を表示する勘定。サブレベルがゼロより大きい場合は、リンクされた子勘定の合計を表示します。この値が選択されている場合は、借方であるか貸方であるかも指定する必要があります。これによって、借方/貸方の値の場合に金額がマイナス記号付きで出力されるかどうかが決まります。
例については、Example of account type Valueを参照してください。
- [テキスト]
このタイプは、レポートにテキストを追加するために使用します。財務諸表レイアウトの [勘定テキストの位置] フィールドで0より大きい値を選択していることを確認してください。テキスト勘定は2つの方法で使用できます。
 - テキストあり
適切なメニューから [テキストエディタ] コマンドを選択し、必要に応じてテキストを入力します。テキスト領域で適切なメニューから [ズームセッションの開始] を選択すると、いくつかの変数を使用できます。テキスト勘定科目のテキストを出力するには、

財務諸表値の出力 (tffst1450m000) セッションで [テキスト勘定のテキストを出力] チェックボックスをオンにします。

■ テキストなし

この結果、記述のある財務諸表用元帳勘定のみが定義されます。勘定テキストの記述の長さが 1 行を超える場合や、財務諸表用元帳勘定のリストの上にヘッダが必要な場合に便利です。

例

勘定科目	記述	タイプ
A001	複数ラインテキスト	テキスト
A002	出力に使用する勘定科目	価値

上記の勘定科目を出力すると、次のような結果になります。

記述	値
複数ラインテキスト	
出力に使用する勘定科目	12,000

■ [比率]

この勘定タイプを選択する場合は、比率 (tffst6100m000) セッションを使用して比率を定義する必要があります (詳細は、次の情報を参照してください: 比率の設定)。カラム別財務諸表用元帳勘定比率明細 (tffst1124m000) セッションで、各カラムに使用する比率を定義できます。[財務諸表用元帳勘定] タブで比率勘定が選択されている場合は、財務諸表 (tffst1600m000) の適切なメニューからこのセッションを開始できます。

■ [丸め]

カラムごとに、値を丸める方法を定義できます。このような丸めによって、端数修正が発生する場合があります。各財務諸表用元帳勘定に、丸め勘定科目を定義できます。財務諸表用元帳勘定の範囲に勘定を割り当てるには、[財務諸表用元帳勘定] タブの適切なメニューから [丸め勘定の割り当] を選択します。これによって財務諸表用元帳勘定範囲に丸め勘定を割り当 (tffst1220m200) セッションが開始されます。

■ [損益]

財務諸表で、為替差損益を使用するかどうかを定義できます。その場合、[損益] 勘定を各勘定について定義できます。勘定科目で未収となっている利益と損失は、この勘定科目に記帳されます。財務諸表用元帳勘定の範囲にこの勘定を割り当てるには、[財務諸表用元帳勘定] タブの適切なメニューから [損益勘定の割り当] を選択します。これによって財務諸表用元帳勘定範囲に損益勘定を割り当 (tffst1220m300) セッションが開始されます。

■ [調整]

カラムごとに、カラムの収支を合わせるよう定義できます。借方合計と貸方合計 (すべてレベル 0) との差額は、[調整] タイプの財務諸表用元帳勘定に記帳されます。

ステップ 3: 財務諸表用元帳勘定のリンク

■ 元帳勘定/ディメンションまたはキャッシュフロー理由のリンク

タイプが [財務諸表] の財務諸表の場合、タイプが [価値] でサブレベルが 0 (ゼロ) の財務諸表用元帳勘定を元帳勘定/ディメンションまたはキャッシュフロー理由にリンクする必

要があります。単一の財務諸表用元帳勘定に複数の範囲をリンクできます。2つのオプションが使えます。

- 元帳勘定またはキャッシュフロー理由を財務諸表用元帳勘定にリンク
 - a. [財務諸表用元帳勘定] タブで財務諸表用元帳勘定を選択し、同じタブの適切なメニューから [財務諸表用元帳勘定別明細] を選択します。財務諸表用元帳勘定別明細 (tffst1521m000) セッションが開始されます。
 - b. 財務諸表用元帳勘定にリンクする範囲を指定します。
- 元帳勘定またはキャッシュフロー理由を財務諸表用元帳勘定およびカラムにリンク
元帳勘定およびディメンションの複数の範囲を、1つの特定カラムにリンクすることができます。財務諸表用元帳勘定についても設定を行うと、財務諸表用元帳勘定について定義された範囲は無視されます。
 - a. [財務諸表用元帳勘定] タブで財務諸表用元帳勘定を選択し、同じタブの適切なメニューから [勘定およびカラム別明細] を選択します。勘定およびカラム別明細 (tffst1122m000) セッションが開始されます。
 - b. 財務諸表用元帳勘定にリンクする範囲を指定します。

- 固定値のリンク

次のように、総勘定元帳にない財務諸表の値が必要な場合があります。

- LN で利用できない年度の残高
 - 従業員当たりの収益など、比率を計算するための従業員数
- また、比較のために、該当業種におけるこの比率の一般的な値を追加したい場合もあります。

このような場合は、元帳勘定やディメンションへのリンクは必要ありません。代わりに固定値を追加します。

- a. [財務諸表用元帳勘定] タブで財務諸表用元帳勘定を選択し、同じタブの適切なメニューから [カラム別財務諸表用元帳勘定値] を選択します。財務諸表用元帳勘定/カラムの明細 (tffst1123m000) セッションが開始されます。
- b. 適切な勘定科目およびカラムに固定値を追加します。オプションで [値の修正可能] を選択すると、財務諸表値を処理する前に値を変更できます。

- 財務諸表用元帳勘定のリンク

タイプが [統合財務諸表] の財務諸表の場合、タイプが [価値] でサブレベルが 0 (ゼロ) の財務諸表用元帳勘定を財務諸表用元帳勘定にリンクする必要があります。単一の財務諸表用元帳勘定に複数の範囲をリンクできます。

- a. [財務諸表用元帳勘定] タブで財務諸表用元帳勘定を選択し、同じタブの適切なメニューから [統合勘定別財務諸表用元帳勘定] を選択します。統合財務諸表用元帳勘定別財務諸表用元帳勘定 (tffst1127m000) セッションが開始されます。
- b. 財務諸表用元帳勘定にリンクする範囲を指定します。

既存の元帳勘定、ディメンションまたは財務諸表構造の使用

財務諸表用元帳勘定構造を最初から定義しなくても、既存の元帳勘定またはディメンション構造を、財務諸表用元帳勘定構造の基礎として使用できます。この目的のために、次のセッションを使用できます。

- 財務諸表のコピー (tffst1260m000)

このセッションを開始するには、財務諸表 (tffst1500m000) セッションで財務諸表を選択し、適切なメニューから [財務諸表のコピー] を選択します。

- 元帳勘定を財務諸表用元帳勘定にコピー (tffst1270m000)
このセッションを開始するには、財務諸表用元帳勘定 (tffst1520m000) セッションで、適切なメニューから [元帳勘定を財務諸表用元帳勘定にコピー] を選択します。
- ディメンションを財務諸表用元帳勘定にコピー (tffst1280m000)
このセッションを開始するには、財務諸表用元帳勘定 (tffst1520m000) セッションで、適切なメニューから [ディメンションを財務諸表用元帳勘定にコピー] を選択します。

ステップ 4: 財務諸表のチェック

財務諸表に不明のリンクがあるかどうか、または元帳勘定やディメンションに関して重複するリンクがあるかどうかをチェックするには、財務諸表のチェック (tffst1250m000) セッションを使用できます。このセッションを開始するには、財務諸表 (tffst1600m000) セッションで財務諸表を選択し、適切なメニューから [財務諸表のチェック] を選択します。すべての適切な元帳勘定を定義したことを検証するには、[元帳勘定を含まないものを出力] チェックボックスをオンにして確認します。

ステップ 5: 財務諸表カラム (外部レポートツールを使用して財務諸表を出力する場合は省略)

財務諸表の出力は、カラム内に表示されます。[財務諸表カラム] タブで、カラムの追加および修正ができます。使用する財務諸表レイアウトで定義されているのと同じカラム数を定義してください。

各カラムについて、以下の項目を指定します。

- カラム記述
テキストを入力するか、テキスト変数 (tffst0800m000) セッションから変数を選択します。
- カラムタイプ
[勘定での割合] を選択した場合は、[財務諸表用元帳勘定] タブの [分母勘定] フィールドに勘定の値が設定されていることを確認してください。
- [カラムタイプ] が [金額/数量] の場合は公式
- 丸め方法
- 財務諸表に金額を表示する方法
- 無視する値を指定する条件 (たとえば 0.05 未満のすべての金額など)

ステップ 6: 公式の要素を定義する

- タイプが [財務諸表] の財務諸表の場合、[財務諸表カラム] タブで、適切なメニューから財務諸表カラム参照 (tffst1111m000) セッションを開始し、財務諸表の公式の変数を定義できます。

公式内の各変数について、次の項目を指定します。

- [カラム参照]
- [変動または固定年度/期間範囲]
[固定] を選択した場合は、[期間詳細] セクションで年度と期間を追加する必要があります。それ以降、この年度と期間が使用されます。別の年度と期間を使用するには、この財務諸表設定を変更する必要があります。

[変動] を選択する場合は、財務諸表を処理するときに年度と期間を選択できます。必要に応じて、[期間シフト] フィールドで特定カラムの年度または期間の数を指定できます。詳細は、次の情報を参照してください: [開始期間 - 期間シフト訂正]

- タイプが [統合財務諸表] の財務諸表の場合、[財務諸表カラム] タブで、適切なメニューから統合財務諸表カラム参照 (tffst1112m000) セッションを開始し、統合財務諸表の公式の変数を定義できます。

公式内の各変数について、次の項目を指定します。

- [会社]
- [参照タイプ]
- [財務諸表]
- [財務諸表カラム]
- [係数]

ステップ 7: 財務諸表状況を [承認済] に設定

LN で次のことが確認されます。

- リンクの設定されたレイアウトが作成済か
- カラムが少なくとも 1 つ存在するか
- すべての変数が定義済か
- 財務諸表用元帳勘定が少なくとも 1 つ定義済か
- 必要なすべての損益勘定科目が定義済か
- 比率勘定科目に値が含まれているか
- 各比率の通貨が財務諸表の通貨と一致しているか

注意

- 以上のすべてのチェックが問題なく完了した場合にのみ、財務諸表を [承認済] に設定できます。
- 承認済の (つまり固定された) 財務諸表のみ、処理や出力に使用できます。

財務諸表から統合財務諸表を作成するには

1. 財務会社で、タイプが [財務諸表] の財務諸表を作成します。
2. この財務諸表を別の会社に適宜コピーします。同じ財務諸表用元帳勘定構造を維持してください。ただし、これらの財務諸表用元帳勘定にリンクされた元帳勘定およびディメンションは変更できます。
3. 統合財務諸表にレイアウトコードを使用できることを確認するか、レイアウトコードを作成します。詳細は、次の情報を参照してください: 財務諸表レイアウトの作成
4. 財務諸表を統合財務諸表にコピーします。
 - a. 財務諸表 (tffst1500m000) セッションで、コピーする財務諸表を選択します。
 - b. 適切なメニューから [財務諸表のコピー] を選択し、財務諸表のコピー (tffst1260m000) セッションを開始します。
 - c. [コピー先] セクションで、以下のことを行います。
 - コードと記述を定義します。
 - [財務諸表タイプ] を [統合財務諸表] に設定します。

- レイアウトコードを指定します。
- d. コピー元の財務諸表で使用されていたテキストを再使用するには、[オプション] セクションで [テキストのコピー] を選択します。
- e. [コピー] をクリックします。
- 5. 財務諸表 (tffst1500m000) セッションで、財務諸表 (tffst1600m000) セッションの統合財務諸表を開きます。
- 6. [財務諸表用元帳勘定] タブで、レベルが 0 (ゼロ) であるすべての勘定について、次の操作を行います。
 - a. 勘定を選択します。
 - b. 適切なメニューから統合財務諸表用元帳勘定別財務諸表用元帳勘定 (tffst1127m000) セッションを開始し、適切な財務諸表勘定を選択した統合財務諸表用元帳勘定にリンクします。
- 7. [財務諸表カラム] タブで、すべてのカラムについて次の操作を行います。
 - a. カラムを開きます。
 - b. 財務諸表カラム (tffst1105m000) セッションで、必要に応じて設定を修正します。[公式] フィールドの値が「a」であることを確認します。
 - c. 適切なメニューから統合財務諸表カラム参照 (tffst1112m000) セッションを開始し、適切な財務諸表カラムを選択した統合財務諸表カラムにリンクします。
リンクした各財務諸表カラムに、変数「a」の中で連番が割り当てられます。
[係数] フィールドを使って参加割合を指定できます。
- 8. 財務諸表の状況を [承認済] に設定します。

比率を設定するには

1. 財務諸表メニューから比率 (tffst6100m000) セッションを開始します。
2. [新規作成] をクリックします。
3. 比率 (tffst6600m000) セッションで、コードと記述を定義し、次の項目を指定します。
 - [比率通貨]
 - [公式]
 - [丸め]
 - [桁数]
 - [結果表示]
 - [出力フォーマット]
 オプションで、[履歴に転記] を選択します。
4. [比率変数] タブで、[新規作成] をクリックします。
5. [公式] フィールドで使用する変数を定義します。
6. [管理] セクションで、[比率状況] を [承認済] に設定します。

注意

また、比率のコピー (tffst6200m000) セッションを使って比率をコピーすることもできます。このセッションは、比率 (tffst6100m000) セッションおよび比率 (tffst6600m000) セッションの適切なメニューから開始できます。

比率を計算すると、財務諸表テーブルに値が保存されます。比率の履歴の削除 (tffst6210m000) セッションを使用して削除されない限り、次のセッションで比率の値を表示できます。

- 比率の値 (tffst6505m000)
- 比率の履歴 (tffst6510m000)

財務諸表の一括変更

財務諸表の一括変更 (tffst1200m000) セッションを使用して、財務諸表または統合財務諸表の範囲に変更を適用します。これらの財務諸表のほとんどすべてのフィールドに変更を適用できます。

財務諸表の一括変更 (tffst1200m000) セッションは、次のような場合に便利です。

- 1 つのコストセンタについて財務諸表を作成し、別のコストセンタにも同じ財務諸表を作成したい場合
 - a. 財務諸表をコピーし、財務諸表の一括変更 (tffst1200m000) セッションでコピーした財務諸表を選択します。
 - b. [財務諸表用元帳勘定へリンクする元帳勘定およびディメンション] タブで、[開始] および [終了] のチェックボックスをオンにします。
 - c. 古い値と新しい値を指定します。
 - d. 必要に応じて他のディメンションについてもこれらのステップを繰り返します。
- 財務諸表カラム参照 (tffst1111m000) セッションで、固定期間範囲を使用していくつかの財務諸表を作成した場合
 - a. 適切な財務諸表を選択します。
 - b. [財務諸表] タブで [開始年度/期間] チェックボックスをオンにし、[ズーム] ボタンをクリックします。財務諸表カラム変動参照の年度/期間の変更 (tffst1115m000) セッションが開始されます。
 - c. [新規作成] をクリックします。
 - d. コード、古い年度と期間、新しい年度と期間を指定します。
 - e. [保存] をクリックしてセッションを閉じます。財務諸表の一括変更 (tffst1200m000) セッションに戻ります。
 - f. [財務諸表] タブで [終了年度/期間] チェックボックスをオンにし、[ズーム] ボタンをクリックします。財務諸表カラム変動参照の年度/期間の変更 (tffst1115m000) セッションが開始されます。
 - g. [新規作成] をクリックします。
 - h. コード、古い年度と期間、新しい年度と期間を指定します。
 - i. [保存] をクリックしてセッションを閉じます。財務諸表の一括変更 (tffst1200m000) セッションに戻ります。
- 1 つの財務会社についていくつかの財務諸表を作成し、同じ財務諸表を別の会社を使用したい場合
 - a. 適切な財務諸表をコピーします。
 - b. 財務諸表の一括変更 (tffst1200m000) セッションを使用して、財務会社の番号を古い値から新しい値に変更します。

LN の直接出力と外部レポートツールの使用

財務諸表の設定に応じて財務データを出力するには、LN ですべての財務諸表用元帳勘定の値を計算する必要があります。この財務データの処理は、LN からの直接出力に使用される財務諸表と、外部レポートツールを使用する財務諸表で異なります。

外部レポートツールで使用するための財務データの処理については、外部レポートツール用の財務データ処理を参照してください。

LN からの財務諸表の処理と出力

1. LN メニューから財務諸表用元帳勘定値の処理 (tffst1249m000) セッションを開始します。または、財務諸表 (tffst1500m000) セッションまたは財務諸表 (tffst1600m000) セッションの適切なメニューからこのセッションを開始します。
2. 適切な財務諸表を選択します。
 - 選択した財務諸表で期間が [変動] に設定されている場合は、年度と期間の範囲も指定する必要があります。
 - 統合財務諸表を出力するには、リンクされた財務諸表が同じ年度と期間についてすでに処理されていることを確認します。
3. 選択した財務諸表について調整処理を入力し、これを考慮する場合は、[財務諸表に調整取引を転記] を選択します。詳細は、次の情報を参照してください: 調整取引と消去取引
4. 選択した財務諸表について財務諸表 (tffst1500m000) セッションの [次の財務諸表] フィールドで財務諸表をリンクし、その財務諸表も処理したい場合は、[次の財務諸表の処理] を選択します。
5. 財務諸表 (tffst1500m000) セッションで、設定に応じて必要なすべてのフィールドを選択します。
6. 選択した財務諸表で固定額を設定し、これらの値が変更可能な場合は、次のいずれかのボタンをクリックします。
 - [勘定/カラム明細]
 - [カラム/勘定明細]
7. [処理] をクリックします。
8. 選択した財務諸表で比率を設定する場合は、次の追加ステップを完了します。
 - a. [比率の値の選択] をクリックします。
 - b. 比率の値の選択 (tffst6205m000) セッションで、計算する比率を選択し、これらの値を保存する期間を指定します。

- c. [選択] をクリックします。
 - d. 財務諸表値に計算された比率を追加するには、財務諸表用元帳勘定値の処理 (tffst1249m000) セッションで [処理] をもう一度クリックします。
9. 財務諸表を出力するには、[出力] をクリックします。
- 財務諸表値の出力 (tffst1450m000) セッションが開始されます。詳細は、次の情報を参照してください: 次のセクション

外部レポートツールで使用するための財務データの処理については、[実際価額コード] パラメータの設定を参照してください。

LN からの財務諸表値の出力

1. LN メニューから財務諸表値の出力 (tffst1450m000) セッションを開始します。または、財務諸表 (tffst1500m000) セッションの適切なメニューから、または財務諸表用元帳勘定値の処理 (tffst1249m000) セッションの [出力] ボタンを使ってこのセッションを開始できます。
2. 財務諸表勘定およびサブレベルの範囲を指定します。
3. 必要に応じてオプションを選択します。
4. [出力] をクリックします。

財務諸表値のエクスポート

財務諸表値の出力 (tffst1450m000) セッションを使用して、財務諸表の値を CSV ファイルや XBRL が組み込まれた Excel テンプレートにエクスポートすることもできます。

財務諸表の値を CSV ファイルにエクスポートするには

範囲を定義し、必要に応じてオプションを選択したら、次の手順を実行します。

1. [エクスポート] で、[CSV ファイル] を選択します。
 2. デフォルト区切り (「,」) を受け入れるか、元帳勘定記述にカンマが使用されている場合は次のようにします。
 - 別の区切りを入力します。
 - [タブ区切り] を選択します。
 3. [出力] をクリックします。
- XBRFSTTB.xlsm スプレッドシートが開き、LN からインポートされた財務諸表の値が表示されます。

財務諸表の値を Excel テンプレート (XBRL を含む) にエクスポートするには

範囲を定義し、必要に応じてオプションを選択したら、次の手順を実行します。

1. [エクスポート] で、[Excel テンプレート (XBRL を含む)] を選択します。
 2. [テンプレートの表示] をクリックします。
- 次に、以下の処理が行われます。
- 追加ファイルの XBRL テンプレートがコンピュータにコピーされます。

- デフォルトの名前と場所が [ワークシートで開く] フィールドに設定されます。
 - Excel スプレッドシートが開きます。ここで、XBRL マッピングをメンテナンスすることができます。
3. スプレッドシートを保存して終了します。
 4. デフォルト区切り (「,」) を受け入れるか、元帳勘定記述にカンマが使用されている場合は次のようにします。
 - 別の区切りを入力します。
 - [タブ区切り] を選択します。
 5. [出力] をクリックします。
XBRLFST.xlsx スプレッドシートが開き、[動的データ] タブに LN からインポートされた財務諸表の値が表示されます。
[メッセージ] タブで、メッセージを必要な言語に翻訳することができます。

第6章 調整取引と消去取引

6

調整処理と消去取引は、特定の財務諸表について入力されます。同じ訂正をすべての財務諸表に適用する場合は、特定の期間について総勘定元帳で仕訳を作成し、次の期間の初日に振り戻すと簡単です。これを行うには、次の方法のいずれかを実行します。

- 定期取引仕訳帳 (tfgld0140m000) セッションを使用します。
- 取引 (tfgld1101m000) セッションまたは取引入力 (tfgld1140m000) セッションを使用して財務取引を作成し、振戻仕訳 (tfgld1295m000) セッションを使用してその取引を振り戻します。

調整取引または消去取引を作成するには

1. LN メニューから調整/消去取引 (tffst2100m000) セッションを開始します。
2. [グループの作成] をクリックします。
3. [財務諸表タイプ] フィールドで、必要に応じて [財務諸表] または [統合財務諸表] を指定します。
4. [新規作成] をクリックします。
5. 取引を作成する財務諸表および財務諸表カラムを選択します。
6. [保存] をクリックしてラインを開きます。調整/消去取引明細 (tffst2101m000) セッションが開始されます。
7. [新規作成] をクリックして財務諸表ラインを作成します。
財務諸表で付属書類を使用する場合は、元帳勘定と財務諸表用元帳勘定の組合せが適切であることを確認してください。
8. 完了したら、詳細セッションを閉じます。
9. [調整/消去取引を財務諸表に転記] をクリックします。

第7章 財務諸表データのドリルダウン

7

さまざまな財務諸表セッションを使用して、階層 (グラフィカル) 構造で財務諸表データを表示できます。オリジナルの財務処理またはロジスティック処理に戻ってズームすることもできます。

次のセッションからデータのドリルダウンを開始できます。

- 財務諸表 (tffst1500m000)
- 財務諸表処理情報 (tffst1549m000)
- 財務諸表 (tffst1500m000) セッションからデータのドリルダウンを開始するには
 - a. 適切な財務諸表をダブルクリックします。財務諸表 (tffst1600m000) セッションが開始されます。
 - b. 必要に応じて、[財務諸表用元帳勘定] タブで財務諸表用元帳勘定を選択します。
 - c. 適切なメニューから [ツリーの表示] を選択します。
[財務諸表用元帳勘定構造] ウィンドウが表示されます。
- 財務諸表処理情報 (tffst1549m000) セッションからデータのドリルダウンを開始するには
 - a. 適切な財務諸表を選択します。
 - b. [ツリーの表示] ボタンをクリックするか、適切なメニューから [ツリーの表示] を選択します。
[財務諸表用元帳勘定構造] ウィンドウが表示されます。

[財務諸表用元帳勘定構造] ウィンドウで、次のいずれかの操作を実行します。

- [表示] メニューの該当するコマンドを使用して、財務諸表をカラム別または財務諸表用元帳勘定別に表示します。
- 財務諸表用元帳勘定または財務諸表のカラムの前に「+」記号がある場合は、そのラインをクリックすると次の階層レベルを表示できます。このように、サブレベル 0 (転記レベル) の財務諸表用元帳勘定に到達するまでドリルダウンできます。
- 財務諸表カラムごとに、ラインが公式とともに表示されます。それぞれの変数をクリックすると、財務諸表用元帳勘定にリンクされた元帳勘定が表示されます。元帳勘定にリンクされたディメンションがあれば、次のレベルに表示されます。これらのラインをディメンションタイプ別に要約するには、[ディメンションに総計] コマンドを使用します。
- 最下位レベル (ファイナライズ済ラインまたは未ファイナライズライン) をダブルクリックまたは右クリックすると、そのラインの残高を構成する個別の取引を表示するセッションが開始されます。
- 適切なメニューの [ファイナライズ済取引] および [ファイナライズ済取引ライン] コマンドを使用して、標準の総勘定元帳セッションで詳細を表示します。

- 財務諸表カラムの変数ラインを右クリックして関連取引セッションを開始し、ここで適切なメニューを使用して取引と伝票詳細のセッションにアクセスできます。

第8章

外部レポートツール用の財務諸表用元帳勘定構造

8

財務諸表用元帳勘定構造を設定する場合、次の点を考慮する必要があります。

レベル数

元帳勘定構造のように、財務諸表用元帳勘定で親子関係を使用できます。財務諸表用元帳勘定の構造は、元帳勘定の構造と似ています。最大レベル数は 99 で、レベル 0 は値に使用され、それ以上のレベルはすべて合計に使用されます。

ただし、FST の中間テーブルでは、最大レベル数は 15 (子レベルが 1 つ、親レベルが 14) になります。レベルの数は、財務諸表用元帳勘定構造を FTC 中間テーブルに移動する場合、一般的には十分です。多くの場合、財務会計の親レベルはすべて使用されるわけではなく、(5、10、15 など) 限られた数のレベルしか存在しないからです。したがって、親子構造は通常、FST 中間テーブルの 15 レベルに問題なくコピーできます。15 レベル以上ある場合は、財務諸表用元帳勘定構造を調整して 15 レベル以下にする必要があります。

正確なレベルコードを取得するためのダミー財務諸表用元帳勘定の使用

財務諸表用元帳勘定構造を設定するには、親子関係を使用できます。このような構造では、1 つの親に複数の子を持つことができます。ただし、親はそれぞれの子の直接の親になる必要はありません。親は子の直接の親になることができますが、親子間に 1 つ以上のレベルを入れることもできます。

次の例では、「固定資産合計」は「車」の直接の親になっています。「固定資産合計」は、「オフィス」と「倉庫」の親にもなっています。ただし、間に「建物」という別の親があります。この財務諸表用元帳勘定構造を FST レポートテーブルにエクスポートすると、親「固定資産合計」は、子「オフィス」および「倉庫」に対して Lv02、子「車」に対して Lv01 となります。

親子財務諸表

レベル	財務所要	親
0	オフィス	建物
0	倉庫	建物
5	建物	固定資産合計
0	車	固定資産合計
10	固定資産合計	

財務諸表の勘定科目構造

レベル	財務諸表	レベル	財務諸表
Lv00	オフィス	Lv00	車
Lv01	建物	Lv01	固定資産合計
Lv02	固定資産合計		

外部レポートライタを使用してレポートを作成し、かつ親「固定資産合計」を使用して子「オフィス」、「倉庫」、および「車」の財務値を合計する場合、問題が発生します。「固定資産合計」がそれぞれ異なるレベルコード (Lv01 および Lv02) で保存されているため、外部レポートライタは Lv01 または Lv02 を合計するかどうか認識できません。このような問題を避けるためには、財務諸表用元帳勘定構造の設定時にダミー財務諸表用元帳勘定を使用する必要があります。

次の例では、ダミー財務諸表用元帳勘定「車の合計」が親「固定資産合計」と子「車」の間のレベルに含まれています。財務諸表用元帳勘定構造が FST レポートテーブルにコピーされると、ダミー財務諸表用元帳勘定では親「固定資産合計」が正しいレベル (Lv02) にあることが確認されます。外部レポートライタで「固定資産合計」、「オフィス」、「倉庫」、および「車」を使用して財務値が合計され、勘定科目に追加されます。

親子財務諸表

レベル	財務諸表	親
0	オフィス	建物
0	倉庫	建物
5	建物	固定資産合計
0	車	車の合計 (=ダミー)
5	車の合計 (=ダミー)	
10	固定資産合計	

財務諸表の勘定科目構造

レベル	財務諸表	レベル	財務諸表
Lv00	オフィス	Lv00	車
Lv01	建物	Lv01	車の合計 (=ダミー)
Lv02	固定資産合計	Lv02	固定資産合計

財務諸表を定義した後、財務諸表の情報を FST レポートテーブル用に処理し、外部レポートライタを使用してこのテーブルに基づいて財務レポートを作成できるようにする必要があります。パフォーマンス上の理由から、エクスポート処理は次の 2 つの部分に分割されます。

- 財務会計総勘定元帳および FSB の値が中間テーブルにエクスポートされ、貸借対照表、損益計算書、年初来値、および予算価値など必要な残高はすべて計算されます。
- 財務諸表はそれぞれに処理されるため、中間値が財務諸表構造とマージされます。

次のステップでは、関連するセッションをリストします。

ステップ 1: [実際価額コード] パラメータの設定

財務諸表パラメータ (tffst0500m000) セッションで [実際価額コード] パラメータを設定します。

ステップ 2: 財務諸表値のエクスポート

財務値のエクスポート (tffst1204m000) セッションを実行して、財務値テーブル (tffst305) に総勘定元帳テーブルおよび FBS テーブルからの財務値を入力します。定期的な貸借対照表や年初来の値などの計算値も、財務値テーブルにエクスポートされます。

ステップ 3: 財務値と財務諸表のマージ

財務諸表値の処理 (tffst1205m000) セッションを実行して、エクスポートされた財務値と財務諸表をマージします。

財務諸表値の処理 (tffst1205m000) セッションで [財務諸表の勘定科目構造エクスポート] チェックボックスをオンにした場合は、ステップ 4 をスキップできます。

[財務諸表の勘定科目構造エクスポート] チェックボックスがオフの場合は、ステップ 4 に進みます。

[元帳勘定階層をエクスポート] チェックボックスまたは [ディメンション階層のエクスポート] チェックボックスをオンにした場合は、ステップ 5 をスキップできます。

ステップ 4: 財務諸表の勘定科目構造のエクスポート (オプション)

財務諸表値の処理 (tffst1205m000) セッションの [財務諸表の勘定科目構造エクスポート] オプション (ステップ 3) をまだ使用していない場合は、ここで財務諸表の勘定科目構造のエクスポート (tffst1220m000) セッションを実行して、勘定科目構造を FST レポートテーブルにエクスポートできます。財務値を変更せずに特定の財務諸表の親子構造を変更した場合も、このセッションを

使用して財務諸表用元帳勘定構造をエクスポートできます。この場合、値をステップ 2 および 3 で説明しているように再度エクスポートおよび処理する必要はありません。

注意: 財務諸表用元帳勘定構造は、構造を FST テーブルに問題なくエクスポートできるように、正しく設定する必要があります。詳細は、次の情報を参照してください: 外部レポートツール用の財務諸表用元帳勘定構造

ステップ 5: 元帳勘定階層およびディメンション階層のエクスポート (オプション)

元帳勘定またはディメンションに基づいて財務諸表を定義した場合、次のセッションを使用できます。

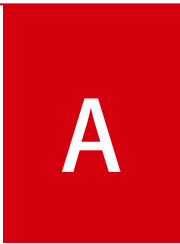
- 元帳勘定階層のエクスポート (tffst1230m000)
財務諸表用元帳勘定やその親子関係をエクスポートする以外にも、このセッションを使用して、元帳勘定階層を元帳勘定階層 (tffst320) テーブルにエクスポートすることもできます。
- ディメンション階層のエクスポート (tffst1240m000)
財務諸表用元帳勘定やその親子関係をエクスポートする以外にも、このセッションを実行して、1 つまたは複数のディメンション階層をディメンション階層テーブル (tffst331-tffst335) にエクスポートできます。

データ管理セッション

データ管理の目的で、次のセッションを利用できます。

- 財務値の削除 (tffst1207m000)
- 財務諸表値の削除 (tffst1206m000)
- 財務値エクスポート時の設定履歴 (tffst1540m000)

付録A
勘定タイプ値の例



オリジナル金額の値	勘定タイプ [価値]、 [借方]	勘定タイプ [価値]、 [貸方]
500 [借方]	500	-500
300 [貸方]	-300	300

適切なメニュー

コマンドは、[表示]、[参照]、および [アクション] メニューに分散されているか、ボタンとして表示されます。旧リリースの LN および Web UI では、これらのコマンドは [特定] メニューに配置されます。

サブレベル

勘定科目およびディメンションの階層構造で元帳勘定またはディメンションのレベルを表す番号。小さい番号は下位のサブレベルに相当します。元帳勘定は 0～99 のサブレベルを持つことができます。ディメンションは 0～9 のレベルを持つことができます。

取引はサブレベル 0 の勘定科目およびディメンションだけに転記できます。サブレベル 1 以上の全金額と数量は下位のサブレベルから集約されます。

財務諸表レイアウト

財務諸表レイアウトによって、財務諸表の全体的な表示方法が指定されます。このレイアウトには、余白、カラムと勘定科目のヘッダデータ、ヘッダとフッタのテキストなどが含まれます。このデータを使用して、財務諸表を作成します。選択したレイアウトコードに対応するパラメータに基づいて、財務諸表データの整列が行われます。

計算グループ

財務諸表内で各会社に必要な通貨を示す、財務会社のセット

通貨は次のいずれかになります。

- 会社の現地通貨
- [通貨]
- [通貨]

ディメンション

元帳勘定上の縦欄を見るための元帳勘定に対する分析勘定。ディメンションは元帳勘定情報を特定するために使用されます。

次を参照してください: ディメンションタイプ

元帳勘定

財務取引を記録したり、レポートや分析用に取引金額を累計する目的で使用する登録。元帳勘定では、取引を収益、費用、資産、負債などに分類します。

同義語: 勘定科目

勘定科目

次を参照してください: 元帳勘定 (ページ 38)

為替レートタイプ

通貨為替レートをグループ化する方法。異なる通貨為替レートを複数の請求先取引先および/または取引タイプ (購買、販売など) に割り当てることができます。

レポート通貨

財務諸表でレポートの値を示すために使用する通貨

会計体系

特定のイベントの結果が転記される勘定科目の体系。会計体系は親子階層構造の元帳勘定で構成されています。

キャッシュフロー計算書

会計期間中の現預金取引履歴のレポート。このレポートで、現預金の配賦元および使途の概要がわかります。キャッシュフロー計算書を定期的に当局に提出することを義務付けている国もあります。

端数修正

算出金額の端数処理によって生じた、関連する借方と貸方転記の若干の差額

BIRT

[BIRT](#) とは、Web アプリケーション (特に Java および J2EE に基づいたもの) 用のオープンソースレポートシステムです。

調整処理

財務諸表の値に訂正を入力すること

分母勘定

割合を計算するときに、分母として定義される財務諸表用元帳勘定

比率

2つの値の比率を、財務諸表に含まれるデータを使用する特定の公式に基づいて示したもの。たとえば、会社の流動性を示す流動比率や当座比率などがあります。

比率は次の用途で使します。

- 財務諸表勘定、統合財務諸表用元帳勘定、および付属書類の値を計算する
- 比率の値の計算に使用する、公式の変数を定義する

次を参照してください: 公式

比率変数

財務諸表カラムの値の計算に使用する、公式に含まれる要素。財務諸表用元帳勘定の値と一致します。

次を参照してください: 公式

公式

財務諸表カラムの値の計算方法を示します。公式には、財務諸表用元帳勘定の値にリンクされた変数が含まれています。

例

a + b - c

ここでの略語は、次のようになっています。

a	=	開始残高
b	=	借方金額
c	=	貸方金額

消去取引

関係会社間の取引 (関係会社間の持ち株、関係会社間の清算) から生じた二重の記入が統合財務諸表に出力されないように、これを削除するために使用される取引

代替勘定

リンクされた財務諸表用元帳勘定と記号 (借方/貸方値) が異なる金額を振り替えることができる勘定

例

貸方勘定として定義済の「短期債務」財務諸表用元帳勘定が、借方勘定として定義済の「現預金」の代替勘定として設定されています。「短期債務」財務諸表用元帳勘定にリンクされた元帳勘定の合計値は 10000 です。

「現預金」にリンクされた元帳勘定の値	「現預金」について財務諸表に出力される値	「短期債務」について財務諸表に出力される値
1000 借方	1000	10000
3000 貸方		13000

XBRL

eXtensible Business Report Language の略語。XBRL は、業務データや財務データの電子伝送を扱う XML ベースのコンピュータ言語です。

GBF

次を参照してください: グラフィカルブラウザフレームワーク (ページ 40)

グラフィカルブラウザフレームワーク

ツリー形式の階層構造を表示するために使用するツール。多くの場合、このツールを使用して、ドラッグアンドドロップ操作を行うこともできます。

例: ブレイクダウン構造の表示

頭字語: GBF

索引

適切なメニュー, 37
財務諸表
 一括変更, 22
サブレベル, 37
財務諸表レイアウト, 37
計算グループ, 37
ディメンション, 37
元帳勘定, 38
勘定科目, 38
為替レートタイプ, 38
レポート通貨, 38
一括変更
 財務諸表, 22
会計体系, 38
キャッシュフロー計算書, 38
端数修正, 38
BIRT, 38
調整処理, 38
分母勘定, 38
比率, 39
比率変数, 39
公式, 39
消去取引, 39
代替勘定, 40
XBRL, 40
GBF, 40
グラフィカルブラウザフレームワーク, 40
